

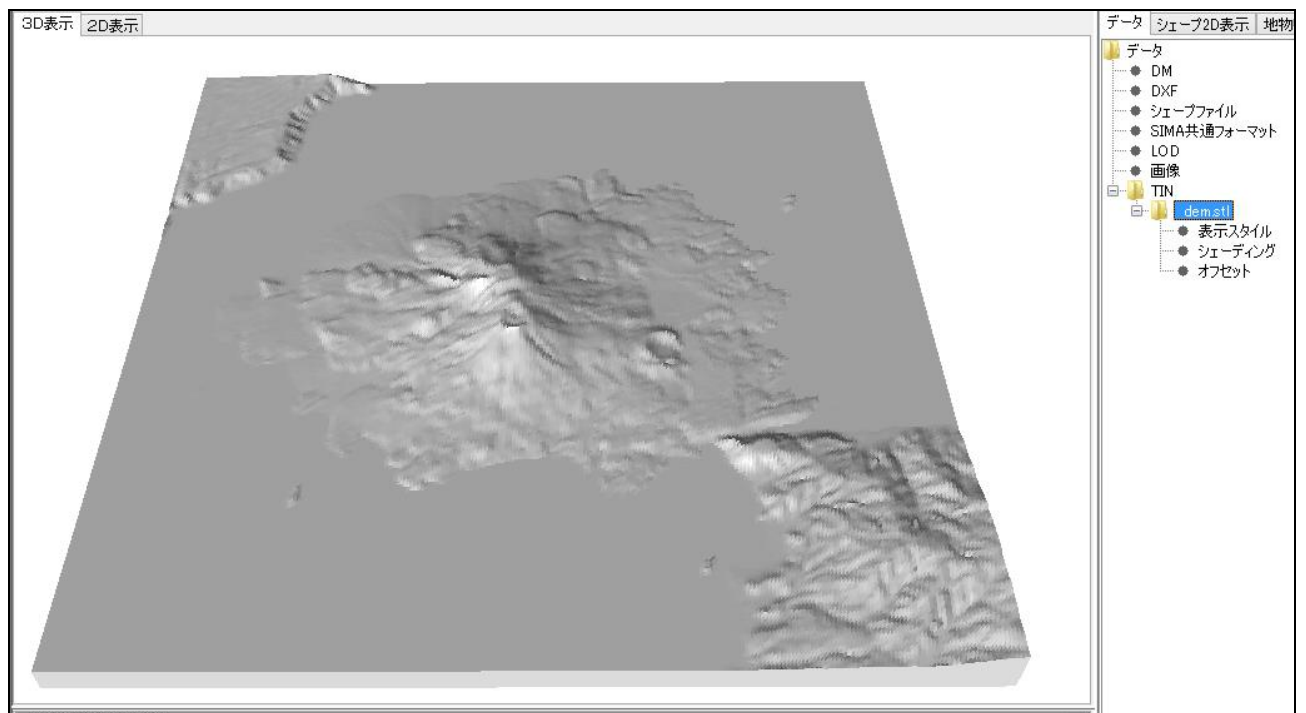
開く TIN(.stl)

目次

1. 機能	1
2. ダイアログ	2
3. 関連するメニュー	3
4. 更新記録	3

1. 機能

3Dプリンタで使われているファイル STL(.stl) 「Standard Triangulated Language」「Stereo lithography」ファイルを開き、記録されている三角ポリゴンを TIN として表示します。



```
1 solid 3d_data↓
2   facet normal -0.8719358679355812 0.48954979940060594 -0.008297454227128738↓
3     outer loop↓
4       vertex 0 6.66 0↓
5       vertex 0 6.67 0.59↓
6       vertex 0.59 6.69 0↓
7     endloop↓
8   endfacet↓
9   facet normal -0.8656198908576734 0.5007017015745363 0↓
10  outer loop↓
11    vertex 0.59 6.69 0↓
12    vertex 0 6.67 0.59↓
13    vertex 0.59 6.69 0.59↓
14  endloop↓
15  endfacet↓
```

上図は、テキストタイプの.stlの例です。三角ポリゴン(facet)の頂点の座標が「vertex」で記録されています。

STL(.stl)ファイルのアスキー形式とバイナリ形式に対応しています。

STL = Standard Triangulated Language あるいは Stereo lithography

https://ja.wikipedia.org/wiki/Standard_Triangulated_Language

メニュー「TIN(.txt)から STL(.stl)作成」

<http://www.geocoach.co.jp/help/STLConvertFromTinTxt0Dialog.pdf>

で作成した STL(.stl)ファイルの確認のため作成しました。

2. ダイアログ



東西、南北、標高

STL(.stl)に記録されている座標について、東西、南北、標高の順で記録されているとして表示します。

東西、標高、-南北

STL(.stl)に記録されている座標について、東西、標高、南北(符号が反転)の順で記録されているとして表示します。
この場合、三番目の座標について、符号を反転して、数学座標 Yとして処理します。

STL ファイルに記録されている座標値を、そのままメートル単位での座標として 3D 表示します。モデルの拡大・縮小
や平行移動等の機能は、現段階では行っていません。

3. 関連するメニュー

TIN ファイルから STL ファイルを作成

TIN(.txt)から STL(.stl)作成

<http://www.geocoach.co.jp/help/STLConvertFromTinTxt0Dialog.pdf>

STL から変換

STL(.stl)を他のフォーマットへ変換

<http://www.geocoach.co.jp/help/STLConvertToTinTxt0Dialog.pdf>

4. 更新記録

2016/07/03

✓このメニューを作成

2017/10/27

✓バイナリ形式の.stl ファイルに対応しました。

2018/08/22

✓関係するメニューの説明を追加